

設計革新セミナーの開催のご案内

第 398 回 (2007 年 11 月度) 例会 / 総会

主催 : 東京設計管理研究会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当研究会に対しまして、格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、標記のセミナーを下記要領にて開催いたしますので、ご多用のことと存じますがご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。今回は、2007 年度の総会も合わせて開催となります。

なお、セミナーへの出欠の確認をさせていただきますので、別紙「セミナー参加申込書」にご記入の上、FAX 又は電子メールにて 11 月 09 日(金)必着で担当幹事までご連絡のほどお願いいたします。(総会案内用返信にてご連絡でも結構です)

敬具

記

1. 日 時 : 2007 年 11 月 14 日 (水) 14:00 ~ 17:00

2. 開催場所 : コマツ本社(株式会社小松製作所)様 第 1・2 会議室 (2F)

住所 : 東京都港区赤坂 2-3-6 (別紙現地案内図参照)

TEL : 03-5561-2827(エンジン事業本部 企画室 西山気付)

開催場所担当 : (株)アイ・ピー・エー 西山 洋一 様

3. プログラム

(1) 会長挨拶 (14:00 ~ 14:10)

(2) 会場提供企業挨拶と企業紹介 (14:10 ~ 14:30)
コマツ エンジン・油機事業本部 企画室
担当部長 田村 好美 様

(3) 発表 1 (14:30 ~ 15:45)

(テーマ) 環境安全対応設計研究会成果発表
『循環型社会に対する設計技術者の対応』Part

(発表者) (株)アイ・ピー・エー 西山 洋一 様

(発表概要)

今年の日本の夏は各地で記録的猛暑となり、今日においても生態系を脅かしている様々な現象が見られます。もはや地球温暖化の影響は遠い国の話ではないことに多くの人々が気が付き始めたのではないのでしょうか。

今年6月のハイリゲンダム・サミットでは、「2050年までに世界全体の温暖化ガス排出量を半減することを真剣に討論しよう」とG8首脳が合意したが、これには京都議定書から離脱し温暖化対策に消極的であった米国も含まれています。

一方、各企業では温暖化ガス排出量の削減と共に、国際的に強く要求されるようになった「循環型製品の開発」言い換えれば「環境に配慮した製品設計の実現」のために、自主的目標を掲げて新しい視点での取り組みがいち早く展開しております。

東京設計管理研究会の環境対応設計研究会では、こうした取り組みに対して、企業として、組織として、設計部門や設計技術者として何をすべきなのか? について、会友の諸先

(強力なアライアンスの誕生! あなたの身近なパートナーTEAC!!)

輩方や各企業の皆様方にご参加を戴き、議論してきましたので、Part としてその内容について発表させて戴きます。(質疑応答時間も含まます)

休憩 (15:45 ~ 16:00)

(4) 2007 年度総会 (16:00 ~ 17:00)
別紙案内

注： TEAC 懇話会は都合により実施いたしません。

4. 11 月度担当幹事：

住所：〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-10-1
富士ゼロックス株式会社 毛利茂之
TEL: 03-5717-2851 FAX: 03-5717-1382
E-mail: shigeyuki.mouri@fujixerox.co.jp

以上

2007 年 11 月度 TEAC 設計革新セミナー申込書

東京設計管理研究会 11 月度担当幹事

富士ゼロックス(株) 毛利茂之 行き

FAX: 03-5717-1382

E-mail: shigeyuki.mouri@fujixerox.co.jp

2007 年 11 月度 TEAC 設計革新セミナーに、

出席します

欠席します

会社名：

出席者名：

本社



〒107-8414

東京都港区赤坂2-3-6